

提出 順番	No. 6	平成 24 年 5 月 29 日 午前・午後 3 時 40 分受領
----------	----------	--------------------------------------

平成 24 年 5 月 29 日

幕別町議会議長 古川 稔 様

幕別町議会議員 岡本真利子 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1. 子どもの読書活動推進の取り組みについて</p>	<p>子どもの読書活動は言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことができないものです。</p> <p>平成 12 年 12 月教育改革国民会議報告においても「読み書き、話すなどの言葉の教育」を重視すべきことが提言されています。</p> <p>しかし現状はテレビ、ビデオ、インターネット等の様々な情報メディアの発達、普及や子どもの生活環境の変化、さらには幼児期からの読書習慣の未形成などにより、子どもの「読書離れ」が指摘されています。</p> <p>このような中、本町においては昨年 2 年ぶりに、貸出が 20 万冊を超え、期間中に 100 冊を借りると図書館のポスターのモデルになる「よむとも 100」などの町独自の企画を催し 8.686 冊(4%)増加の効果が出ています。</p> <p>以下の点について伺います。</p> <p>① 本町の小、中学校の読書に対する教育方針について</p> <p>② 各学校図書館の整備状況について</p> <p>③ 町図書館札内分館での乳幼児、園児への配慮整備について</p>

2.学校における食育の
推進について

近年、偏った栄養摂取、朝食欠食などの、乱れや肥満、
痩身傾向など、子どもたちの健康を取り巻く問題が深刻化
しています。

食を通じ地域等を理解することや、食文化の継承を図る
こと、自然の恵みや勤労の大切さなどを理解するとともに、
子どもたちが、食に関する正しい知識と食習慣を身に付け
ることが出来るよう、学校においても積極的に取り組んで
いくことが必要と考えられます。農業王国の十勝としては
地場産の食材を豊富に利用された給食が賄われています。

「地産地消」の推進は、健康で豊かな食生活の実現、さら
には地域の産業について学ぶ教育的効果や地域経済の活性
化にも結びつきます。

最近では給食のあり方も見直されてきております。そこ
で現在全国的に注目を集めているのが、子どもたちが自分
で弁当を作ってくる「弁当の日」です。平成 13 年に香川県
の小学校で始まり全国で 500 校を超える学校が取り組んで
います。北海道では 4 校が実施しています。

以下の点について伺います。

- ① 幕別町の小、中学校において「弁当の日」の実践の取り
組みについて
- ② 今後の学校給食への新しい取り組みについて